

みんなで考えよう!動物愛護と適正飼育について 動物は最期まで責任を持って!



命を預かる責任を考えよう

平成24年度に全国の自治体の保健所、動物愛護センター等に引き取られた猫の総数は135,745頭、そのうち飼い主からの引き取り(いわゆる飼育放棄)は約23%の32,313頭でした。

また、帯広保健所で引き取られた猫の約80%は野良猫、迷子猫、負傷猫で、残り約20%が飼育放棄でした。その中でも生まれて間もない子猫の割合が多いということもひとつの特徴です。

保健所への飼育放棄や、当NPOへの相談で多い理由は「引っ越しするから」「子どもや孫が猫アレルギーになった」「粗相をするから」「歳をとったからもういい」「病気になって治療費が払えないから」「飼い主が病気、入院、高齢で施設に入った、あるいは亡くなった」など…中には呆れた安易な理由もあります。

自分の愛猫の最期が保健所での殺処分で本当にいいのでしょうか?

ペットとして迎え入れるとき、『終生飼育』を念頭にこの小さな命と向き合っていたいただきたいと思います。

飼う時はご自分の年齢も考えて

子猫の姿はそれはかわいいものです。でも、猫の寿命は長くて20年と言われていています。もし、80歳の方が子猫を飼い始めたら、本当に最期まで面倒を見ることができるのでしょうか…?このことを考え、当NPOではご高齢の方の子猫の譲渡は行っておりません。子どもが手を離れたので、夫婦で猫を飼ってみようか…とお考えの方には、落ち着いて飼いやすい高齢猫をおすすめすることもあります。



どうしても飼えないときは

飼えなくなった猫については、まずは飼い主さんが全力で新しい飼い主を探す努力をしてください(友人知人に聞く、ポスターを作り動物病院などに貼ってもらうなど)。これは捨て猫や迷い猫を保護した場合も同じです。当NPOは情報の拡散や里親探しのお手伝いやサポート、野良猫に関する相談やTNRのアドバイスは無料でさせていただいておりますが〈猫を引き取る施設〉ではありませんのでご理解ください。



～殺処分ゼロをめざして、1匹でも多くの猫たちにWish(希望)を～
NPO法人 猫たちを守る十勝Wishの会

〒080-0802 北海道帯広市東2条南2丁目5-8 [北海道第121050144号 展示・北海道第121370181号 譲受飼養]

HP <http://catcafe-wish.jimdo.com/> f <https://www.facebook.com/CatCafeWish>

このパネルは帯広市市民提案型協働のまちづくり支援事業の助成を受け製作しています。